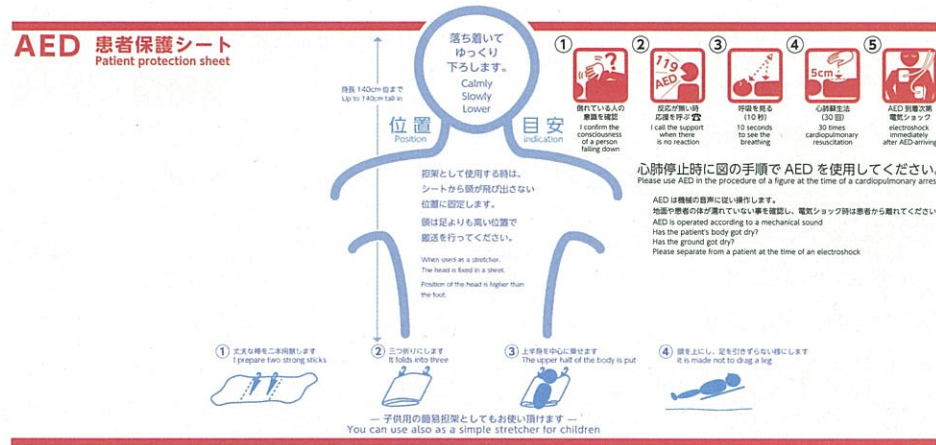


■ 経済産業大臣賞 (一般)

株式会社長英 益永 貴広 (東京都)
「AED使用時 患者保護シート」



○工夫点

近年、町でAEDをよく見かける様になりましたが、AEDの講習を受けていても使用する機会もないと、実際に使用ができるかわからないと悩まれる方も多いと思います。

そこで簡単に使用できるシートがないかと考え、レジャーシートのようなものであれば、便利ではないかと考え作成しました。特徴として、布の地色と赤のラインで視認性がよく、AED使用中ということが周囲からもはっきりわかり、通行車などから身を守りやすくなります。本体にも使用方法は書いてありますが、ピクト化することで手順を脳内で整理しながら、落ち着いた作業が可能です。燃えにくい素材のものを使用し破れにくく丈夫ですが、はさみ等で簡単に切れるのできれいなガーゼがあれば包帯の代わりにもなります。

また、患者や心肺蘇生法を行っている方に、うちの役割で使用する下敷きも作成しました。

○審査委員長講評

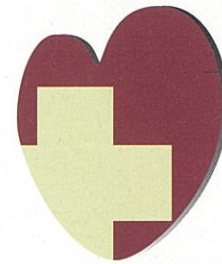
AEDの普及が進んできたが、緊急時に不慣れな人に使い方を分かりやすく示すための効果的な方法が課題になっている。この作品は、「倒れている人を保護するために、地上に広げたり、体を包んだりするシート」という実用的なアイテムを考え、シートの表面に大きなピクトと分かりやすい表現でAEDの使用法の説明を記している。遠くからも視認しやすい色づかいで緊急事態が起きていることを周囲に示し、簡易担架としても使えるように工夫している。命に関わる状況で、不慣れな人が救護を行わざるを得ないときに欠かせない手助けを、AEDの機械とセットで提供することを提案している。今後は、AED本体をケースに入れて設置するだけでなく、こうした「AEDをより効果的に使いこなすためのアイテム」をセットにした形で普及させる方策を考えることが重要だろう。

■ 経済産業大臣賞 (学生)

常葉大学 篠原 今日子 (静岡県)
「心のコミュニケーションアクセサリとストラップ」

それぞれの特徴

<イヤリング>

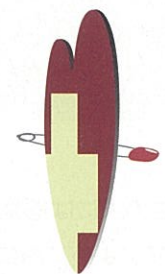


金属アレルギーの人も着用出来るよう、金属以外の素材を使用。

着用しやすい開いて挟むタイプのイヤリング。長時間つけていても痛くならない。



<バッチ>



安全ピンを使用。これも、金属アレルギーの人のことを考え、素材は金属以外を使用。

○工夫点

「見た目には分からない疾患を持っている方々も快適に過ごすために」というのがコンセプトです。アクセサリをつけることで、疾患を持っていることを周囲の人々に分かってもらい、お互い「心でコミュニケーションをとる」のが目的です。目立つ赤を使い、色弱の方にも分かりやすいアクセサリとストラップにしました。

○審査委員長講評

難聴、ロービジョン、内臓の疾患など、外見は一般の人と変わらないのに体に不便を抱えている人たちは、自分に「障碍」があることを毎日のように周りの人に説明しないと。これは単に煩わしいだけでなく、自分の体の欠点を日々再認識させられることになり、精神的なダメージが少なくない。「説明しな

くても周囲の人に気づいて欲しい」という当事者自身の願いから生まれたこの作品は、イヤリングや、メガネのフレームにつける小さなアクセサリやストラップを、難聴やロービジョンであることを周囲に示すサインにしようというアイデアである。アクセサリのデザインの完成度には工夫の余地があるが、本作品が提案するコンセプトを活かしながら、シンプルで誰にでもつけやすく、かつどんな人にも趣旨が分かりやすいものを、さらに工夫できるとよい。この企画の実現のためには、アクセサリを当事者に配布する仕組みや、サインの意味を広く周知させるための大規模な啓発活動が必要になる。すでに同種の発想で、外見からは分かりにくい妊娠初期の人が目印に使うシールが広がりを見せているので、同じような取り組みを期待したい。



○審査委員長講評

楽しみながら手話を覚えるためのカードゲーム。よく使う言葉を挨拶、感情、日時、色、人称、動詞、場所、モノの8つのカテゴリーに分類し、それぞれのカードを異なる色と模様、登場人物の組み合わせで、分かりやすく区別している。ケースもカードを取り出しやすく工夫されており、ゲームもルールを覚えるのは簡単な割に実際にプレイするのは難しいように、よく考えられている。

■優秀賞 (学生の部)

常葉大学
篠原 今日子 (静岡県)
「つながるブック」

○工夫点

目が見えない方や耳が聞こえない方々が、手話などを使うことなく、よりスムーズにコミュニケーションをとるために使うカードです。「感情カード」「あいさつカード」「場所カード」の3種類があり、それぞれの状況に応じて使い分けます。ピクトグラム、ひらがな、英語・中国語・韓国語表記、点字があり、様々な方々に対応出来るようにしています。また、背景と文字色に明度差をつけて弱視の方にも見えやすいカードにしています。

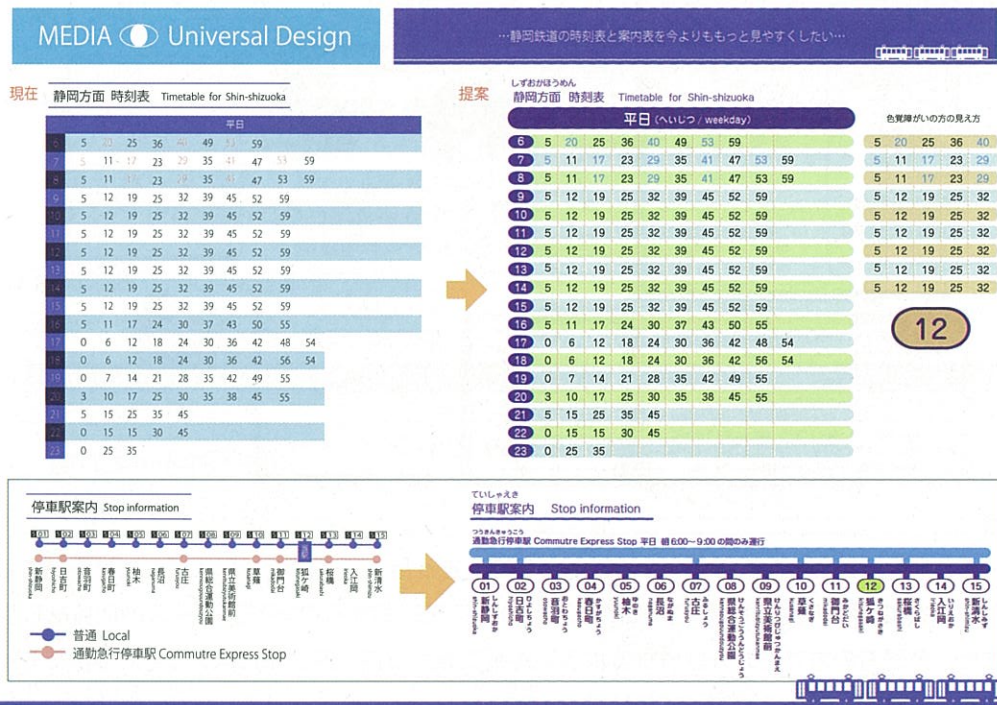


○審査委員長講評

難聴や目が見えない人とのコミュニケーションのための会話帳と、英語、中国語、韓国語などの外国人むけのコミュニケーションのための会話帳は、障害者と外国人で対応を管轄する官庁も異なり、従来は別々に考えられがちであった。この作品は両者を1つにまとめ、どんな相手でも使えるように工夫されている。日・英・中・韓の多国語表示に加え、目がまったく見えない人むけに点字を備えるとともに、黒地に白文字の高いコントラストでロービジョンの人にも見やすく配慮されている。挨拶、場所、病院関連の用語をカバーしているが、「しゅわっとかーど」のように対応場面をもっと増やしてもよいかも知れない。

■優秀賞 (学生の部)

静岡デザイン専門学校 小林 鞠江 (静岡県)
「時刻表をもっと見やすく、わかりやすく!」



○工夫点

ターゲット層に縛られることなく、誰でもわかりやすく見やすくなるように、色や文字に気を使いました。全部にふりがなをふっているのもポイントです。